

対象校No. 270

注4

学校コード F101310100276

注3

設置年度

令和

4年度

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

届出

札幌国際大学

人文学部

国際教養学科

【届出】 設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正前大学設置基準適用)

学校法人札幌国際大学

令和6年5月1日現在

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

4 対象校No.については、「【別紙】令和6年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、

該当番号を記載してください。

目次

人文学部

	ページ
<国際教養学科>	
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	17
4. 既設大学等の状況	18
5. 教員組織の状況（省略）	20
6. 附帯事項等に対する履行状況等	39
7. その他全般的事項	41

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人札幌国際大学

(2) 大学名

札幌国際大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒004-8602

北海道札幌市清田区清田4条1丁目4番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ウエノ ハチロウ) 上野 八郎 (平成27年4月1日)	(タムラ トモユキ) 田村 智幸 (令和6年4月1日)	任期満了のため(令和6年4月1日)(6)
学長	(クラミツ ヤスユキ) 蔵満 保幸 (令和2年4月1日)		
学部長	(タケイ アキヤ) 武井 昭也 (令和2年4月1日)	(ツバキ アケミ) 椿 明美 (令和6年4月1日)	任期満了のため(令和6年4月1日)(6)
学科長等	(タケイ アキヤ) 武井 昭也 (令和4年4月1日)	(ハマダ コウイチ) 濱田 剛一 (令和6年4月1日)	任期満了のため(令和6年4月1日)(6)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和5年度に報告済の内容 → (5)
令和6年度に報告する内容 → (6)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
 ・ 様式は、令和元年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和6年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
人文学部 国際教養学科 学士(人文学)	文学関係	4年	60人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	240人	-	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		春季入学以外の学期区分について	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	-	-	-	-	-	-	58人	2人	58人	2人	58人	2人	春季入学以外の学期区分を設ける予定	1.16倍	一倍	
志願者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-) (128)	(-) (0)	(-) (125)	(-) (3)	(-) (106)					
受験者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-) (124)	(-) (0)	(-) (117)	(-) (3)	(-) (104)					
合格者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-) (117)	(-) (0)	(-) (116)	(-) (3)	(-) (104)					
B 入学者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-) (70)	(-) (0)	(-) (70)	(-) (2)	(-) (58)					
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	1.16		1.20		0.96					

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
 ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
 ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択してください。(春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「-」を選択。)
 ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を出す大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
 ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 ・ 「(5) - ② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	-	-	-	-	-	-	67	0	64	2	60	0	編入学3人を含む 編入学9人、転学科2人を含む
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[7]	[-]	[6]	[2]	[6]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
2年次			-	-	-	-	-	-	69	0	67	0	
			[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[9]	[0]	[9]	[-]	
			(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
3年次					-	-	-	-	-	-	80	0	
					[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[17]	[-]	
					(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
4年次							-	-	-	-	-	-	
					[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
					(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
計	-	-	-	-	-	-	67	0	135	2	207	0	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[7]	[-]	[17]	[2]	[32]	[0]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学生数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和元年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	70 人	3 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	3 人	2 人	[家庭の事情(2名)] [他の教育機関への入学(1名)]
令和5年度	140 人	7 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	1 人	0 人	経済的理由(1名)
			令和5年度	6 人	1 人	進路変更(5名) [他の教育機関への入学(1名)]
令和6年度	207 人	0 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	0 人	0 人	
			令和5年度	0 人	0 人	
			令和6年度	0 人	0 人	
合計		10 人		10 人	3 人	

- (注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{3}{70} = \boxed{4.28} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{7}{140} = \boxed{5} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{207} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<人文学部 国際教養学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					*任・*部	
			必修	選択	自由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
全学共通教育科目	初年次教育科目	学びの技法	1前・後	2			1					4
	学生と社会	1前・後	2			1						4
	基礎ゼミⅠ	1前・後	2				1	2				
	基礎ゼミⅡ	1前・後	2				1	2				
	小計(4科目)	-	8	0	0	1	1	2	0	0		8
教養教育科目	人文	人間と文学	3前	2		1						
		人間と哲学	2後	2								1
		人間と心理	2前	2								1
		人間と歴史	1後	2								1
		言語学	1後	2								1
	社会	生涯学習論	2前	2								1
		社会と経済	1後	2								1
		社会と経営	2前	2								1
		社会と法	2後	2								1
		日本国憲法	2前	2								1
		社会学	1後	2		1						
		社会とメディアの倫理	2前	2								1
		小計(8科目)	-	16	0	0	1	1	0	0	0	0
	日本文化	日本文化論	1後	2				1				
		日本文化演習(茶道)	2後	2								1
		日本文化演習(華道)	2後	2								1
		日本文化演習(書道)	2後	2								1
	芸術・スポーツ	芸術論Ⅰ	3前	2		1						
		芸術論Ⅱ	3後	2		1						
		日本の音楽	2前	2								2
		音楽実践	2後	2								1
		スポーツⅠ	1前	2								5
		スポーツⅡ	1後	2								5
		フィットネスⅠ	2前	2								1
フィットネスⅡ		2後	2								1	
小計(24科目)	-	0	48	0	3	0	1	0	0	0	20	
地域・国際教育科目	地域探究	地域学	2前	2		1						
		北海道学	2前	2		1						
		地域アクティビティⅠ(ポランディア)	1前	2		2	1					1
		地域アクティビティⅡ(清田)	1後	2		2	1					1
		地域アクティビティⅢ(北海道)	2前	2		2	1					1
	国際	サステナビリティ	3後	2								1
		多文化共生論	2前	2		1						
		国際事情	2後	2								1
		クールジャパン	1後	2		1						
		海外ボランティア・インターンシップⅠ	2前・後	2		3						3
海外ボランティア・インターンシップⅡ	2前・後	2		3						3		
海外研修Ⅰ	1前・後	2		1	1	2				1		
海外研修Ⅱ	1前・後	2		1	1	2				1		
海外研修Ⅲ	1前・後	2		1	1	2				1		
海外研修Ⅳ	1前・後	2		1	1	2				1		
小計(15科目)	-	0	30	0	5	2	2	0	0	0	7	
言語情報教育科目	言語	日本語表現入門	1前	2		1						1
		日本語表現Ⅰ	1前・後	2		1		1				6
		日本語表現Ⅱ	1前・後	2		1		1				6
		日本語表現Ⅲ	2前	2		1						2
		英語Ⅰ	1前・後	2								5
		英語Ⅱ	1前・後	2								5

【令和6年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					*任・*部	
			必修	選択	自由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
全学共通教育科目	初年次教育科目	学びの技法	1前・後	2			1	0				3
	学生と社会	1後	2			0	1					0
	基礎ゼミⅠ	1前・後	2			3	2	1				
	基礎ゼミⅡ	1前・後	2			3	2	1				
	小計(4科目)	-	8	0	0	4	2	1	0	0		3
教養教育科目	人文	人間と文学	3前	2		1						
		人間と哲学	2前・後	2								1
		人間と心理	2前・後	2								2
		人間と歴史	1後	2								1
		言語学	1後	2								1
	社会	生涯学習論	2前	2								1
		社会と経済	1後	2								1
		社会と経営	2前	2		1						0
		社会と法	2後	2								1
		日本国憲法	2前	2								1
		社会学	1後	2		1						
		社会とメディアの倫理	2前	2								1
		小計(8科目)	-	16	0	1	0	0	0	0	0	0
	日本文化	日本文化論	1前	2			0	0				1
		日本文化演習(茶道)	2前・後	2								2
		日本文化演習(華道)	2前・後	2								1
		日本文化演習(書道)	2前	2								1
	芸術・スポーツ	芸術論Ⅰ	3前	2		1						
		芸術論Ⅱ	3後	2		1						
		日本の音楽	2前	2								2
		音楽実践	2後	2								1
		スポーツⅠ	1前	2								4
		スポーツⅡ	1後	2								6
		フィットネスⅠ	2前	2								1
フィットネスⅡ		2後	2								1	
小計(24科目)	-	0	48	0	4	0	0	0	0	0	24	
地域・国際教育科目	地域探究	地域学	2前	2		1						
		北海道学	2前	2		1						
		地域アクティビティⅠ(ポランディア)	1前	2		2	1					1
		地域アクティビティⅡ(清田)	1後	2		2	1					0
		地域アクティビティⅢ(北海道)	2前	2		2	1					1
	国際	サステナビリティ	3前	2								1
		多文化共生論	2前	2		1						0
		国際事情	2後	2								1
		クールジャパン	1前	2		1						
		海外ボランティア・インターンシップⅠ	2前・後	2		2		1				0
海外ボランティア・インターンシップⅡ	2前・後	2		2		1				0		
海外研修Ⅰ	1前	2		0	1	0				0		
海外研修Ⅱ	1前	2		0	0	1				0		
海外研修Ⅲ	1前	2		0	0	0				1		
海外研修Ⅳ	1後	2		0	0	0				1		
小計(15科目)	-	0	30	0	5	2	1	0	0	0	5	
言語情報教育科目	言語	日本語表現入門	1前	2		1						1
		日本語表現Ⅰ	1前・後	2		0		1				9
		日本語表現Ⅱ	1前・後	2		1		1				7
		日本語表現Ⅲ	2前	2		0						1
		英語Ⅰ	1前・後	2				1				7
		英語Ⅱ	1前・後	2				1				7

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						責任・講師
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	英語Ⅲ	2前	2									5
	英語Ⅳ	2後	2									5
	Conversation I	1前	2		1							1
	Conversation II	1後	2		1							1
	OLIL I (英語で文化を学ぶ)	3前	2		1							
	OLIL II (英語で文化を学ぶ)	3後	2									1
	TOEIC I	2後	2									1
	TOEIC II	3前	2									1
	中国語Ⅰ	1前	2				1					
	中国語Ⅱ	1後	2				1					
	中国語Ⅲ	2前	2				1					
	中国語Ⅳ	2後	2				1					
	韓国語Ⅰ	1前	2						1			
	韓国語Ⅱ	1後	2						1			
	韓国語Ⅲ	2前	2						1			
韓国語Ⅳ	2後	2						1				
情報	情報機器操作	1前・後	2									5
	表計算	1後	2									5
	文書作成	1後	2									4
	プロジェクトマネジメント	1後	2			1						1
	AI・データサイエンス	2前	2									2
	ITパスポート演習	2前	2									2
	文系のための数学入門	1後	2									1
	小計(29科目)	-	10	48	0	2	2	2	0	0	0	23
キャリア教育科目	キャリア形成論	1後	2			1						
	キャリアデザイン	2後	2			1						
	キャリア研究	3後	2				1					
	新聞で読む社会事情	3前	2									1
	SU特講	2後	2									1
	ビジネス実務総論	2前	2									1
	ビジネス実務演習	2後	2			1						
	ビジネス日本語	2前・後	2									1
	インターンシップⅠ	1前・後	2			3	1					3
	インターンシップⅡ	1前・後	2			3	1					3
	インターンシップⅢ	1前・後	4			3	1					3
	小計(11科目)	-	4	20	0	3	1	0	0	0	0	7
留学生教育科目	日本事情Ⅰ	2前	2									1
	日本事情Ⅱ	2後	2									1
	日本語(留学生)Ⅰ	1前・後	2					1				4
	日本語(留学生)Ⅱ	1前・後	2					1				4
	日本語(留学生)Ⅲ	1前・後	2					1				4
	日本語(留学生)Ⅳ	1前・後	2					1				4
	日本語(留学生)Ⅴ	1前・後	2					1				4
	日本語(留学生)Ⅵ	1前・後	2					1				4
	小計(11科目)	-	0	16	0	0	0	1	0	0	0	5
学部共通科目	人文学概論	1前・後	2			2	1					2
	基礎演習Ⅰ	2前	2			1	1	1				
	基礎演習Ⅱ	2後	2			1	1	1				
	応用演習Ⅰ	3前	2			2	3	4				
	応用演習Ⅱ	3後	2			2	3	4				
	テーマ研究Ⅰ	4前	2			2	3	4				
	テーマ研究Ⅱ	4後	2			2	3	4				
	卒業研究	4通	4			2	3	4				
	小計(8科目)	-	14	4	0	4	3	4	0	0	0	2
学科基礎科目	現代文化論	3後	2			3	1					1
	比較文化論	1後	2			1						
	文化人類学	1後	2									1
	博物館概論	1後	2			1						1
	考古学	2後	2				1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						責任・講師
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	英語Ⅲ	2前	2									1
	英語Ⅳ	2後	2									1
	Conversation I	1前	2			0		0				1
	Conversation II	1後	2			0		0				1
	OLIL I (英語で文化を学ぶ)	3前	2			0						1
	OLIL II (英語で文化を学ぶ)	3後	2									1
	TOEIC I	2後	2									1
	TOEIC II	3前	2									1
	中国語Ⅰ	1前・後	2					0				3
	中国語Ⅱ	1前・後	2					0				3
	中国語Ⅲ	2前	2					0				1
	中国語Ⅳ	2後	2					0				1
	韓国語Ⅰ	1前・後	2					1	0			2
	韓国語Ⅱ	1後	2					1	0			1
	韓国語Ⅲ	2前	2					1	0			
韓国語Ⅳ	2後	2					1	0				
情報	情報機器操作	1前・後	2									5
	表計算	1後	2									2
	文書作成	1後	2									2
	プロジェクトマネジメント	1後	2				0					1
	AI・データサイエンス	2前	2									2
	ITパスポート演習	2前	2									1
	文系のための数学入門	1後	2									1
	小計(29科目)	-	10	48	0	1	1	2	0	0	0	30
キャリア教育科目	キャリア形成論	1後	2			1						
	キャリアデザイン	2後	2			1						0
	キャリア研究	3後	2				0					2
	新聞で読む社会事情	3前	2									1
	SU特講	2後	2									1
	ビジネス実務総論	2前	2			1						0
	ビジネス実務演習	2後	2			0						1
	ビジネス日本語	2前・後	2			1						1
	インターンシップⅠ	1前・後	2			2	1					3
	インターンシップⅡ	1前・後	2			2	1					3
	インターンシップⅢ	1前・後	4			2	1					3
	小計(11科目)	-	4	20	0	2	1	0	0	0	0	5
留学生教育科目	日本事情Ⅰ	2前	2									1
	日本事情Ⅱ	2後	2									1
	日本語(留学生)Ⅰ	1前・後	2					0				3
	日本語(留学生)Ⅱ	1前・後	2					1				1
	日本語(留学生)Ⅲ	1前・後	2					0				3
	日本語(留学生)Ⅳ	1前・後	2					0				1
	日本語(留学生)Ⅴ	1前・後	2					0				1
	日本語(留学生)Ⅵ	1前・後	2					0				1
	小計(11科目)	-	0	16	0	0	0	1	0	0	0	5
学部共通科目	人文学概論	1前・後	2			1		0				2
	基礎演習Ⅰ	2前	2			3	2	1				
	基礎演習Ⅱ	2後	2			3	2	1				
	応用演習Ⅰ	3前	2			5	3	2				
	応用演習Ⅱ	3後	2			5	3	2				
	テーマ研究Ⅰ	4前	2			2	3	2				
	テーマ研究Ⅱ	4後	2			2	3	2				
	卒業研究	4通	4			2	3	2				
	小計(8科目)	-	14	4	0	7	3	2	0	0	0	2
学科基礎科目	現代文化論	3後	2			0	0					1
	比較文化論	1後	2			1						
	文化人類学	1後	2									1
	博物館概論	1後	2			0						1
	考古学	2後	2				0					1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼務	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	世界遺産	2前	2		1							
	日本文学	3後	2								1	
	日本近現代史	2前	2					1				
	世界近現代史	3前	2									1
	アニメ文化論	4後	2									1
	ポップカルチャー	4前	2									1
	小計(11科目)	-	0	22	0	4	1	1	0	0	0	6
学科専門科目	国際・産業社会	地域研究Ⅰ(アジアの文化)	1後	2			1					
		地域研究Ⅱ(米州の文化)	2前	2				1				
		地域研究Ⅲ(欧州の文化)	2後	2								1
		国際関係論	2前	2								1
		SDGs特講	2前	2								1
		グローバルイズムと地域経済	1後	2		1						
		地域産業論	2後	2		1						
		国際ビジネス事情Ⅰ	2後	2								1
		国際ビジネス事情Ⅱ	3前	2								1
		アントレプレナー論	4前	2		1						
		事例で学ぶマネジメント	3後	2		1						
		事例で学ぶマーケティング	1後	2								1
		グローバルマーケティング	3前	2								1
		国際ビジネス演習	3後	2		1						
		スキルアップ総合演習	1後	2			1					
小計(15科目)	-	0	30	0	2	2	1	0	0	0	4	
言語	Reading Skills I	1前	2		1							
	Reading Skills II	1後	2		1							
	Reading Skills III	2前	2		1							
	English Communication I	1前	2								1	
	English Communication II	1後	2								1	
	English Communication III	2前	2				1					
	Introduction to Literature	3前	2								1	
	Introduction to Linguistics	3前	2				1					
	Academic Skills	2前	2								1	
	Academic Writing	2後	2								1	
	Gender Studies	2後	2			1						
	Language and Culture	3前	2				1					
	中国語特講	3前	2			1						
	中国文化概論	2前	2			1						
	中国語学概論	2後	2			1						
	韓国語特講	3前	2				1					
	韓国文化概論	2前	2				1					
	韓国語学概論	2後	2				1					
短期学外学修	1前	3			1	2						
長期学外学修	2後	4			1	2						
小計(20科目)	-	0	43	0	1	1	2	0	0	0	3	
文化・地域	先史文化論	1前	2			1						
	文化資源学	2前	2			1					1	
	考古学実習	3前	2		1	1						
	史料演習	4前	2				1					
	北海道の民俗学	1後	2								1	
	北海道の文化Ⅰ(歴史と文化遺産)	1後	2								1	
	北海道の文化Ⅱ(食と生活)	2前	2		1							
	北海道の文化Ⅲ(芸術と文学)	2後	2		1							
	北海道の文化Ⅳ(環境と産業)	3前	2								1	
	まちづくりと北海道	1後	2								1	
	地域学習Ⅰ	1後	2		1							
	地域学習Ⅱ	2前	2		1							
	地域探究Ⅰ	1後	2		1							
	地域探究Ⅱ	2前	2		1							
小計(14科目)	-	0	28	0	3	1	1	0	0	0	4	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼務		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
	世界遺産	2前	2		0							1	
	日本文学	3後	2									1	
	日本近現代史	2後	2					0	0			1	
	世界近現代史	3前	2									1	
	アニメ文化論	4後	2									1	
	ポップカルチャー	4前	2									1	
	小計(11科目)	-	0	22	0	1	0	0	0	0	0	8	
学科専門科目	国際・産業社会	地域研究Ⅰ(アジアの文化)	1後	2			0						1
		地域研究Ⅱ(米州の文化)	2前	2					1				
		地域研究Ⅲ(欧州の文化)	2後	2			1						0
		国際関係論	2前	2									1
		SDGs特講	2前	2									1
		グローバルイズムと地域経済	1後	2		1							
		地域産業論	2後	2		1							
		国際ビジネス事情Ⅰ	2後	2			1						0
		国際ビジネス事情Ⅱ	3前	2			1						0
		アントレプレナー論	4前	2		1							
		事例で学ぶマネジメント	3後	2		1							
		事例で学ぶマーケティング	1後	2									1
		グローバルマーケティング	3前	2									1
		国際ビジネス演習	3後	2		1							
		スキルアップ総合演習	1後	2			1						
小計(15科目)	-	0	30	0	3	1	1	0	0	0	3		
言語	Reading Skills I	1前	2		1								
	Reading Skills II	1後	2		1								
	Reading Skills III	2前	2		1								
	English Communication I	1前	2						0			2	
	English Communication II	1後	2						0			1	
	English Communication III	2前	2						0			1	
	Introduction to Literature	3前	2									1	
	Introduction to Linguistics	3前	2					1					
	Academic Skills	2前	2									1	
	Academic Writing	2後	2									1	
	Gender Studies	2後	2						0			1	
	Language and Culture	3前	2							1			
	中国語特講	3前	2						0			1	
	中国文化概論	2前	2						0			1	
	中国語学概論	2後	2						0			1	
	韓国語特講	3前	2						1	0			
	韓国文化概論	2前	2						1	0			
	韓国語学概論	2後	2						1	0			
短期学外学修	1前	3			1	0	1				0		
長期学外学修	2後	4			1	1							
小計(20科目)	-	0	43	0	2	1	1	0	0	0	6		
文化・地域	先史文化論	1前	2			1							
	文化資源学	2前	2			0		1				1	
	考古学実習	3前	2					1	0			1	
	史料演習	4前	2										
	北海道の民俗学	1後	2									1	
	北海道の文化Ⅰ(歴史と文化遺産)	1後	2						1			0	
	北海道の文化Ⅱ(食と生活)	2前	2		1								
	北海道の文化Ⅲ(芸術と文学)	2後	2		1								
	北海道の文化Ⅳ(環境と産業)	3前	2						1			0	
	まちづくりと北海道	1後	2									1	
	地域学習Ⅰ	1後	2		1								
	地域学習Ⅱ	2前	2		1								
	地域探究Ⅰ	1後	2		1								
	地域探究Ⅱ	2前	2		1								
小計(14科目)	-	0	28	0	2	2	0	0	0	0	3		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教	准教	講	助	助		
コミュニケーション	コミュニケーション論	1前	2		1							
	コミュニケーション演習	1後	2		1							
	異文化コミュニケーションⅠ	2前	2				1					
	異文化コミュニケーションⅡ	2後	2				1					
	組織とコミュニケーション	3前	2		1							
	心理言語学	2後	2				1					
	社会言語学	2前	2				1					
	言語学特論	2後	2								1	
	日本語教育概論	1前	2								1	
	日本語教育文法Ⅰ	1後	2								1	
	日本語教育文法Ⅱ	2前	2								1	
	日本語教授法Ⅰ	1後	2				1					
	日本語教授法Ⅱ	2前	2				1					
	日本語教育実習	2後	2				1					2
小計(14科目)	-	0	28	0	3	0	2	0	0	2		
学芸員	博物館資料論	2前	2								1	
	博物館資料保存論	2後	2								1	
	博物館経営論	3後	2			1						
	博物館展示論	3前	2			1						
	博物館教育論	3前	2		1							1
	博物館情報・メディア論	3後	2								1	
	博物館実習	4通	3		1	1						
	北海道ミュージアム	1後	2		1							
	小計(8科目)	-	0	17	0	1	1	0	0	0	3	
合計(181科目)	-				8	3	4	0	0	70		

卒業要件及び履修方法

全学共通教育科目では「初年次教育科目」必修8単位、「教養教育科目」人文、社会、日本文化、芸術・スポーツ各分野から1科目以上計10単位以上、「地域・国際教育科目」地域探究、国際各分野から各1科目以上計4単位以上、「言語情報教育科目」から必修10単位を含む16単位以上、「キャリア教育科目」から必修4単位を含む8単位以上を修得すること。
「学部共通科目」から必修14単位を含む14単位以上、「学科基礎科目」から10単位以上、「学科専門科目」から26単位以上を修得し、全学共通教育科目と合わせて124単位以上を修得すること。(履修科目の登録の上限: GPAにより年間40～52単位)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教	准教	講	助	助		
コミュニケーション	コミュニケーション論	1前	2		1							
	コミュニケーション演習	1後	2		1							
	異文化コミュニケーションⅠ	2前	2			1	0	0				
	異文化コミュニケーションⅡ	2後	2			1	0	0				
	組織とコミュニケーション	3前	2		1							
	心理言語学	2後	2					0				1
	社会言語学	2前	2					1				
	言語学特論	2後	2								1	
	日本語教育概論	1前	2								1	
	日本語教育文法Ⅰ	1後	2								1	
	日本語教育文法Ⅱ	2前	2								1	
	日本語教授法Ⅰ	1後	2				1					
	日本語教授法Ⅱ	2前	2				1					
	日本語教育実習	2後	2				1					2
小計(14科目)	-	0	28	0	4	0	1	0	0	2		
学芸員	博物館資料論	2前	2								1	
	博物館資料保存論	2後	2								1	
	博物館経営論	3後	2			1						
	博物館展示論	3前	2			1						
	博物館教育論	3前	2				0					1
	博物館情報・メディア論	3後	2								1	
	博物館実習	4通	3		0	1						
	北海道ミュージアム	1後	2		0	1						
	小計(8科目)	-	0	17	0	0	1	0	0	0	3	
合計(181科目)	-				8	3	2	0	0	76		

卒業要件及び履修方法

全学共通教育科目では「初年次教育科目」必修8単位、「教養教育科目」人文、社会、日本文化、芸術・スポーツ各分野から1科目以上計10単位以上、「地域・国際教育科目」地域探究、国際各分野から各1科目以上計4単位以上、「言語情報教育科目」から必修10単位を含む16単位以上、「キャリア教育科目」から必修4単位を含む8単位以上を修得すること。
「学部共通科目」から必修14単位を含む14単位以上、「学科基礎科目」から10単位以上、「学科専門科目」から26単位以上を修得し、全学共通教育科目と合わせて124単位以上を修得すること。(履修科目の登録の上限: GPAにより年間40～52単位)

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教	准教	講	助	助		
全学共通教育科目	学びの技法	1前・後	2		1	1					3	
	学生と社会	1前・後	2		1						4	
	基礎ゼミⅠ	1前・後	2		2	3	1					
	基礎ゼミⅡ	1前・後	2		2	3	1					
	小計(4科目)	-	8	0	0	2	3	1	0	0	8	
教養教育科目	人間と文学	3前	2		1						1	
	人間と哲学	2後	2								1	
	人間と心理	2前	2								1	
	人間と歴史	1後	2								1	
	言語学	1後	2								1	
社会	生涯学習論	2前	2								1	
	社会と経済	1前	2								1	
	社会と経営	1前	2		1						0	
	社会と法	2後	2								1	
	日本国憲法	2前	2								1	
	社会学	1後	2		1							
	社会とメディアの倫理	2前	2								1	
日本文化	日本文化論	1後	2			1	0					
	日本文化演習(茶道)	2前・後	2								1	
	日本文化演習(華道)	2前・後	2								1	
	日本文化演習(書道)	2前	2								1	
芸術・スポーツ	芸術論Ⅰ	3前	2		1							
	芸術論Ⅱ	3後	2		1							
	日本の音楽 音楽実践	1前 2後	2 2								2 1	

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教	准教	講	助	助		
全学共通教育科目	学びの技法	1前・後	2		1							4
	学生と社会	1前・後	2		1							4
	基礎ゼミⅠ	1前・後	2		2	1	2					
	基礎ゼミⅡ	1前・後	2		2	1	2					
	小計(4科目)	-	8	0	0	2	1	2	0	0	8	
教養教育科目	人間と文学	3前	2		1							1
	人間と哲学	2後	2									1
	人間と心理	2前	2									1
	人間と歴史	1後	2									1
	言語学	1後	2									1
社会	生涯学習論	2前	2									1
	社会と経済	1後	2									1
	社会と経営	1前	2		1							0
	社会と法	2後	2									1
	日本国憲法	2前	2									1
	社会学	1後	2		1							
	社会とメディアの倫理	2前	2									1
日本文化	日本文化論	1後	2					1				
	日本文化演習(茶道)	2後	2									1
	日本文化演習(華道)	2後	2									1
	日本文化演習(書道)	2後	2									1
芸術・スポーツ	芸術論Ⅰ	3前	2		1							
	芸術論Ⅱ	3後	2		1							
	日本の音楽 音楽実践	1前 2後	2 2								2 1	

- ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
- ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。（2つの表が1ページに表示されるようにしてください。）
- ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【令和4年度】

- ・ 開講クラスの増加により、「基礎ゼミⅠ」の専任教員の配置に「教授2」を追加。
- ・ 開講クラスの増加により、「基礎ゼミⅡ」の専任教員の配置に「教授2」を追加。
- ・ 専門科目との順序性を考慮し、「社会と経営」の配当年次を「2前」から「1前」に変更。
- ・ 配当年次変更に伴う担当者見直しにより、「社会と経営」の兼任・兼任教員「1」を専任教員「教授1」に変更。
- ・ 履修順序の適正化を考慮し、「日本の音楽」の配当年次を「2前」から「1前」に変更。
- ・ 開講クラスの増加及び担当者の見直しにより、「スポーツⅠ」の兼任・兼任教員の配置を「5」から「6」に変更。
- ・ 開講クラスの増加及び担当者の見直しにより、「スポーツⅡ」の兼任・兼任教員の配置を「5」から「6」に変更。
- ・ 開講クラスの増加により、「日本語表現入門」の兼任・兼任教員の配置を「1」から「2」に変更。
- ・ 開講クラスの増加により、「英語Ⅰ」に専任教員「講師1」を追加及び兼任・兼任教員の配置を「5」から「7」に変更。
- ・ 開講クラスの増加により、「英語Ⅱ」に専任教員「講師1」を追加及び兼任・兼任教員の配置を「5」から「7」に変更。
- ・ 担当者の見直しにより、「ConversationⅠ」の兼任・兼任教員「1」を専任教員「講師1」に変更。
- ・ 開講クラスの減少により、「ConversationⅡ」の兼任・兼任教員「1」を削除。
- ・ 開講クラスの増加により、「中国語Ⅰ」に兼任・兼任教員「2」を追加。
- ・ 開講クラスの増加により、「中国語Ⅱ」に兼任・兼任教員「1」を追加。
- ・ 開講クラスの増加により、「文系のための数学入門」の兼任・兼任教員の配置を「1」から「2」に変更。
- ・ 開講クラスの増加により、「インターンシップⅠ」の兼任・兼任教員の配置を「3」から「6」に変更。
- ・ 開講クラスの増加により、「インターンシップⅡ」の兼任・兼任教員の配置を「3」から「6」に変更。
- ・ 開講クラスの増加により、「インターンシップⅢ」の兼任・兼任教員の配置を「3」から「6」に変更。
- ・ 開講クラスの増加により、「日本語（留学生）Ⅰ」の兼任・兼任教員の配置を「4」から「5」に変更。
- ・ 開講クラスの増加により、「日本語（留学生）Ⅱ」の兼任・兼任教員の配置を「4」から「5」に変更。

【令和5年度】

- ・ 担当者の見直しにより、「学びの技法」の兼任・兼任教員「4」を「3」に変更し、専任教員「准教授1」を追加。
- ・ 開講クラスの増加及び担当者昇任により、「基礎ゼミⅠ・Ⅱ」の専任教員の配置を「准教授1」から「准教授3」、「講師2」から「講師1」に変更。
- ・ 履修順序の適正化を考慮し、「人間と哲学」の配当年次を「2後」から「2前」に変更。
- ・ 履修順序の適正化を考慮し、「社会と経済」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
- ・ 担当者の昇任により、「日本文化論」の専任教員の配置を「講師1」から「准教授1」に変更。
- ・ 履修機会の確保を考慮し、「日本文化演習（茶道）」「日本文化演習（華道）」の配当年次を「2後」から「2前・後」に変更。
- ・ 履修時期の適正化を考慮し、「日本文化演習（書道）」の配当年次を「2後」から「2前」に変更。
- ・ 開講クラスの減少により、「スポーツⅠ・Ⅱ」の兼任・兼任教員の配置を「6」から「5」に変更。
- ・ 担当者の見直しにより、「地域7747イティⅠ(ボラティア)」の専任教員の配置を「教授2」から「教授1」に変更し、兼任・兼任教員を削除。
- ・ 担当者の見直しにより、「地域7747イティⅡ(清田)」の専任教員「教授2」を「教授1」に変更し、専任教員「准教授1」と兼任・兼任教員を削除。
- ・ 担当者の見直しにより、「地域7747イティⅢ(北海道)」の専任教員「教授2」を「教授1」に変更し、専任教員「准教授1」と兼任・兼任教員を削除。
- ・ 担当者の見直しにより、「多文化共生論」の専任教員の配置を「教授1」から兼任・兼任教員「1」に変更
- ・ 担当者の見直しにより、「海外ボランティア・インターンシップⅠ・Ⅱ」の専任教員「教授3」を「教授2」「准教授1」に変更し、兼任・兼任教員を削除。
- ・ 担当者の見直しにより、「海外研修Ⅰ」の専任教員「教授1」「准教授1」「講師2」及び兼任・兼任教員「1」を専任教員「准教授1」に変更。
- ・ 担当者の見直しにより、「海外研修Ⅱ」の専任教員「教授1」「准教授1」「講師2」及び兼任・兼任教員「1」を専任教員「講師1」に変更。
- ・ 担当者の見直しにより、「海外研修Ⅲ」の専任教員「教授1」「准教授1」「講師2」及び兼任・兼任教員「1」を専任教員「准教授1」に変更。
- ・ 担当者の見直しにより、「海外研修Ⅳ」の専任教員「教授1」「准教授1」「講師2」及び兼任・兼任教員「1」を兼任・兼任教員「1」に変更。
- ・ 履修時期の適正化を考慮し、「海外研修Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」の配当年次を「1前・後」から「1前」に変更。
- ・ 履修時期の適正化を考慮し、「海外研修Ⅳ」の配当年次を「1前・後」から「1後」に変更。
- ・ 担当者の見直しにより、「日本語表現入門」の兼任・兼任教員の配置を「2」から「1」に変更。
- ・ 開講クラスの減少により、「文書作成」の兼任・兼任教員の配置を「4」から「2」に変更。
- ・ 担当者の見直しにより、「プロジェクトマネジメント」の専任教員「准教授1」を削除。
- ・ 担当者の見直しにより、「AI・データサイエンス」の兼任・兼任教員の配置を「2」から「1」に変更。
- ・ 担当者の見直しにより、「ITパスポート演習」の兼任・兼任教員の配置を「2」から「1」に変更。
- ・ 担当者の見直しにより、「キャリアデザイン」の専任教員「教授1」を兼任・兼任教員「1」に変更。
- ・ 担当者の見直しにより、「SIU特講」の兼任・兼任教員の配置を「1」から「2」に変更。
- ・ 開講クラスの増加により、「ビジネス日本語」に専任教員「教授1」を追加。
- ・ 担当者の見直しにより、「インターンシップⅠ・Ⅱ・Ⅲ」の兼任・兼任教員の配置を「6」から「3」に変更。
- ・ 担当者の見直しにより、「人文学概論」の専任教員の配置を「教授2」から「教授1」に変更し、兼任・兼任教員の配置を「1」から「2」に変更。
- ・ 開講クラスの増加により、「基礎演習Ⅰ・Ⅱ」の専任教員の配置を「教授1」「准教授1」「講師1」から「教授3」「准教授3」「講師1」に変更。
- ・ 担当者の昇任により、「応用演習Ⅰ・Ⅱ」の専任教員の配置を「准教授3」から「准教授5」、「講師4」から「講師2」に変更。
- ・ 担当者の昇任により、「テーマ研究Ⅰ・Ⅱ」の専任教員の配置を「准教授3」から「准教授5」、「講師4」から「講師2」に変更。
- ・ 担当者の昇任により、「卒業研究」の専任教員の配置を「准教授3」から「准教授5」、「講師4」から「講師2」に変更。
- ・ 専任教員として着任予定教員が担当することにより、「博物館概論」の兼任・兼任教員「1」から専任教員「教授1」に変更。
- ・ 担当者の見直しにより、「考古学」に兼任・兼任教員「1」を追加。
- ・ 担当者の昇任により、「日本近現代史」の専任教員の配置を「講師1」から「准教授1」に変更。

- ・担当者の見直しにより、「文化資源学」の専任教員の配置を「准教授1」から兼任・兼任教員「1」に変更。
- ・担当者の昇任により、「史料演習」の専任教員の配置を「講師1」から「准教授1」に変更。
- ・担当者の退職により、「北海道の文化Ⅰ（歴史と文化遺産）」の兼任・兼任教員「1」を専任教員「准教授1」に変更。
- ・担当者の見直しにより、「異文化コミュニケーションⅠ・Ⅱ」の専任教員の配置を「講師1」から「准教授1」に変更。

【令和6年度】

- ・担当者の見直しにより、「学びの技法」の専任教員「准教授1」を削除。
- ・担当者の見直しにより、「学生と社会」の専任教員の配置を「教授1」から「准教授1」に変更、「兼任・兼任教員」を削除。
- ・履修時期の適正化を考慮し、「学生と社会」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・担当者の見直しにより、「基礎ゼミⅠ・Ⅱ」の専任教員の配置を「教授2」から「教授3」、「准教授3」から「准教授2」に変更。
- ・履修機会の確保を考慮し、「人間と哲学」の配当年次を「2前」から「2前・後」に変更。
- ・履修機会の確保を考慮し、「人間と心理」の兼任・兼任教員の配置を「1」から「2」に変更し、配当年次を「2前」から「2前・後」に変更。
- ・履修機会の確保を考慮し、「日本国憲法」の配当年次を「2前」から「2前・後」に変更。
- ・担当者の退職により、「日本文化論」の専任教員「准教授1」を削除し、「兼任・兼任教員1」を追加、配当年次を「1後」から「1前」に変更。
- ・担当者の見直しにより、「日本文化演習（華道）」の兼任・兼任教員の配置を「1」から「2」に変更。
- ・担当者の見直しにより、「スポーツⅠ」の兼任・兼任教員を「5」から「4」に変更。
- ・担当者の見直しにより、「スポーツⅡ」の兼任・兼任教員を「5」から「6」に変更。
- ・担当者の見直しにより、「地域アクティビティⅠ（ボランティア）」の「教授1」を削除、「兼任・兼任教員1」を追加。
- ・担当者の見直しにより、「地域アクティビティⅢ（北海道）」の「教授1」を削除、「兼任・兼任教員1」を追加。
- ・履修時期の適正化を考慮し、「サスティナビリティ」の配当年次を「3後」から「3前」に変更。
- ・担当者の異動により、「多文化共生論」の「兼任・兼任教員1」を削除、「教授1」を追加。
- ・履修時期の適正化を考慮し、「クールジャパン」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
- ・担当者の見直しにより、「海外研修Ⅲ」の専任教員「准教授1」を削除し、「兼任・兼任教員1」を追加。
- ・担当者の見直しにより、「日本語表現Ⅰ」の専任教員「教授1」削除、兼任・兼任教員の配置を「7」から「9」に変更。
- ・担当者の見直しにより、「日本語表現Ⅱ」の兼任・兼任教員の配置を「8」から「7」に変更。
- ・担当者の見直しにより、「ConversationⅠ」の兼任・兼任教員の配置を「2」から「1」に変更。
- ・担当者の見直しにより、「SIU特講」の兼任・兼任教員の配置を「2」から「1」に変更。
- ・担当者の見直しにより、「ビジネス実務総論」の専任教員「教授1」を追加し、「兼任・兼任教員1」を削除。
- ・担当者の見直しにより、「ビジネス実務演習」の専任教員「教授1」を削除し、「兼任・兼任教員1」を追加。
- ・担当者の見直しにより、「インターンシップⅠ・Ⅱ・Ⅲ」の専任教員の配置を「教授3」から「教授2」に変更。
- ・担当者の見直しにより、「日本語(留学生)Ⅰ・Ⅲ」の専任教員「准教授1」を削除し、兼任・兼任教員の配置を「5」から「3」に変更。
- ・担当者の見直しにより、「日本語(留学生)Ⅱ」の兼任・兼任教員の配置を「5」から「1」に変更。
- ・担当者の見直しにより、「日本語(留学生)Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ」の専任教員「准教授1」を削除し、兼任・兼任教員の配置を「5」から「1」に変更。
- ・担当者の見直しにより、「基礎演習Ⅰ・Ⅱ」の専任教員「准教授」を「3」から「2」に変更。
- ・担当者の見直しにより、「応用演習Ⅰ・Ⅱ」の専任教員「教授」を「2」から「5」、「准教授」を「5」から「3」に変更。
- ・担当者の見直しにより、「テーマ研究Ⅰ・Ⅱ」、「卒業研究」の専任教員「准教授」を「5」から「3」に変更。
- ・担当者の見直しにより、「現代文化論」の専任教員「教授3」「准教授1」を削除。
- ・担当者の辞退により、「博物館概論」の専任教員「教授1」を削除、「兼任・兼任教員1」を追加。
- ・担当者の見直しにより、「考古学」の専任教員「准教授1」を削除。
- ・担当者の辞退により、「世界遺産」の専任教員「教授1」を削除、「兼任・兼任教員1」を追加。
- ・担当者の退職により、「日本近現代史」の専任教員「准教授1」を削除、「兼任・兼任教員1」を追加。
- ・担当者の見直しにより、「国際ビジネス事情Ⅰ・Ⅱ」の専任教員「教授1」を追加し、「兼任・兼任教員1」を削除。
- ・履修時期の適正化を考慮し、「短期学外学修」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・担当者の退職により、「長期学外学修」の専任教員「准教授」の配置を「2」から「1」に変更。
- ・担当者の辞退により、「考古学実習」の専任教員「教授1」を削除、「兼任・兼任教員1」を追加。
- ・担当者の退職により、「異文化コミュニケーションⅠ・Ⅱ」の専任教員「准教授1」を削除、「教授1」を追加。
- ・担当者の退職により、「博物館教育論」の専任教員「教授1」を削除、「兼任・兼任教員1」を追加。
- ・担当者の退職により、「博物館実習」の専任教員「教授1」を削除。

- (注) ・ 2 (1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
18 科目	163 科目	0 科目	181 科目	18 科目 [0]	163 科目 [0]	0 科目 [0]	181 科目 [0]	

- (注) ・ **未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入**するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{181} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校舎敷地	0㎡	53,118.28㎡	0㎡	53,118.28㎡				
	運動場用地	0㎡	31,881㎡	0㎡	31,881㎡				
	小 計	0㎡	84,999.28㎡	0㎡	84,999.28㎡				
	そ の 他	0㎡	39,817㎡ 41,884.50㎡	0㎡	39,817㎡ 41,884.50㎡				
	合 計	0㎡	124,816.28㎡ 126,883.78㎡	0㎡	124,816.28㎡ 126,883.78㎡				
(2) 校 舎	専 用	5,891㎡ 5,864㎡ 5,811㎡	44,770㎡ 44,625㎡ 44,698㎡	774㎡ 801㎡ 946㎡ 1,026㎡	51,435㎡	人事異動のため(6)			
	(5,891㎡) (5,864㎡) (5,811㎡)	(44,770㎡) (44,625㎡) (44,698㎡)	(774㎡) (801㎡) (946㎡) (1,026㎡)	(51,435㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室	24 室	演 習 室 37 室 36 室	実験実習室 13 室 12 室	情報処理学習施設 9 室 10 室 (補助職員 0 人)	語学学習施設 0 室 (補助職員 0 人)			
	(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称 人文学部国際教養学科			室 数 14 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体での共用分 図書 192,849冊〔18,335冊〕 +166,064冊〔16,436冊〕 学術雑誌 3,601種〔796種〕 3,487種〔665種〕 視聴覚資料 5,364点 3,604点 令和6年5月1日現在の経 過状況を赤字で示す。 (5)	
	人文学部 国際教養学科	40,734〔6,899〕 (40,561〔7,100〕) (40,433〔6,865〕)	34〔5〕 (34〔5〕)	4〔4〕 (4〔4〕)	1,249 (1,249)	()	()		
	計	40,734〔6,899〕 (40,561〔7,100〕) (40,433〔6,865〕)	34〔5〕 (34〔5〕)	4〔4〕 (4〔4〕)	1,249 (1,249)	()	()		
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体			
	2,798 ㎡	322		208,750					
(7) 体 育 館	面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要							
	7,074 ㎡	野 球 場 、 弓 道 場 テ ニ ス コ ー ト 2 面							
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書費には電子図書・電子ジャーナル・データベースの整備費(運用コスト含む)を含む
		教員1人当たり研究費等	170千円	170千円	図書購入費	0千円	1,100	1,300千円	
	共同研究費等	4,600千円	4,600千円	設備購入費	0千円	0千円	0千円		
	学生1人当たり 納付金	第1年次 1,150千円	第2年次 930千円	第3年次 930千円	第4年次 930千円	第5年次 —千円	第6年次 —千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学経常費補助金、資産運用収入、雑収入等							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学 の 名 称											札幌国際大学	収容定員充足率0.7倍以下の学科数	1	収容定員充足率1.5倍以上の学科数	2
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考				
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度						
人文学部	4	190	-	760	-	1.04	1.04	-	令和4	-					
国際教養学科	4	60	-	240	学士(人文学)	1.16	-	-	令和4	北海道札幌市清田区清田四条一丁目4番1号					
現代文化学科	4	-	-	-	学士(人文学)	-	-	-	平成15	同上	令和4年度入学生より学生募集停止				
心理学科	4	130	-	520	-	1.03	1.03	令和6	平成16	同上					
臨床心理専攻	4	80	-	320	学士(人文学)	1.25	1.25	令和6	平成16	同上	令和6年度から入学定員変更(50→80)				
子ども心理専攻	4	50	-	200	学士(教育学)	0.78	-	-	平成20	同上					
観光学部	4	110	-	440	-	0.62	-	令和6	平成21	-					
観光ビジネス学科	4	110	-	440	学士(観光学)	0.59	-	令和6	平成21	北海道札幌市清田区清田四条一丁目4番1号	令和6年度から入学定員変更(140→110)				
国際観光学科	4	-	-	-	学士(観光学)	-	-	-	平成21	同上	令和4年度入学生より学生募集停止				
スポーツ人間学部	4	140	-	560	-	1.01	1.01	-	平成21	-					
スポーツ保健学科	4	60	-	240	学士(スポーツ)	0.80	-	-	平成21	北海道札幌市清田区清田四条一丁目4番1号					
スポーツ指導学科	4	80	-	320	学士(スポーツ指導学)	1.17	1.17	-	平成21	同上					
大学全体	4	440	-	1,760	-	-	-	-	-	-					

大学 の 名 称											〇〇短期大学(該当なし)	収容定員充足率0.7倍以下の学科数	-	収容定員充足率1.5倍以上の学科数	-
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考				
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度						
〇〇学科	2	100	-	200	短期大学士(〇〇学)	0.57	-	-	令和3	〇〇県〇〇市〇〇〇〇〇...					
●●学科	3	80	-	240	短期大学士(●●学)	1.15	1.14	-	平成27	同上					
◇◇学科	2	60	-	120	短期大学士(◇◇学)	0.44	0.44	-	平成28	同上					
■■学科	2	50	-	100	短期大学士(■■学)	1.17	1.16	-	平成30	同上					
大学全体	2 3	210 80	-	660	-	-	-	-	-	-					

大学 の 名 称											〇〇高等専門学校(該当なし)	収容定員充足率0.7倍以下の学科数	-	収容定員充足率1.5倍以上の学科数	-
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考				
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度						
〇〇学科	5	100	-	500	準学士(〇〇)	0.63	-	-	令和4	〇〇県〇〇市〇〇〇〇〇...					
●●学科	5	200	-	1000	準学士(〇〇)	1.15	1.14	-	平成26	同上					
学校全体	5	300	-	1500	-	-	-	-	-	-					

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）。
- なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
- ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。
 - ・学部/学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和7年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 - ・「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
 - ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区分	附帯事項等	履行状況	今後の実施計画	
認可時 (令和3年)	定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について着実に実施すること。	完成年度前に専任教員（15名）のうち教授5名が定年規程に定める退職年齢を超えることとなり、その割合は33%である。当初、退職年齢を超える教員が教授6名（40%）であると届け出たのは間違いであった。（4） 上記記述は誤りで、完成年度前に定年規程に定める退職年齢を超える専任教員は教授6名である。（5） 就任を辞退した教授がいたため、完成年度前に定年規程に定める退職年齢を超える専任教員は教授5名となった。令和6年度に若手の専任教員を1名補充したものの、現在の状況における定年を超える教員の構成率は41.66%である。令和7年度に就任予定の教員が着任すれば、構成率は38.46%になる見込みである。（6）	履行中	定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努め、教員の専門分野に配慮しつつ若手教員の配置を検討していく。（5） 今後はさらに若手教員の配置を検討していく。（6）
設置計画履行状況 調査結果 (令和4年度)	該当なし			
設置計画履行状況 調査結果 (令和5年度)	入学者選抜の適切な実施等を通じ、収容定員超過の改善に努めること。（人文学部国際教養学科）	【A C】 指摘事項 (改善) 令和6年度入試選抜（春季入学）では入学定員58名に対し入学者58名で超過はなかったが、編入学合格者12名の入学があったため収容定員充足率は1.16倍となった。令和5年度1.18倍に比べると僅かではあるが改善した。（6）	履行中	入学者選抜における合格者の歩留まりを慎重に見極めながら、収容定員超過の改善に努めていく。（6）

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。
 - 【令和5年度報告書から記載内容に変更がある場合】
令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「（5）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（6）」と記載してください。
 - 【令和5年度報告書から記載内容に変更がない場合】
令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「（5）（6）」と記載してください。
 - 【令和6年度から新たに調査対象となった学科等又は令和5年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（6）」と記載してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。

その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。

- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<人文学部 国際教養学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
① 施設 a 入試関係室1室(27㎡) b 研究室2室(53㎡)	(令和4年5月1日) ① 施設 a 入試関係の打合せ等を行う部屋(共用)として利用するため、短大専用1室(27㎡)の用途変更を行った。 b 人事異動により研究室2室(53㎡)を短大専用から大学専用に変更した。
① 施設 a 212実習室(調理実習室)、調理実習準備室2室(145㎡) ②教室等 a 演習室36室 b 実験実習室12室 c 情報処理学習施設10室	(令和5年5月1日) ① 施設 a 大学の授業においても使用することとなり、短大専用から共用に用途変更を行った。 ② 教室等 a 第1体育館の改修に伴い、第1演習室を演習室に室名変更及び第2演習室の用途変更を行った。また、情報教育センターの改修に伴い、演習室2室を新設。これにより演習室の室数は37室に変更。 b 5号館3階531実習室を追加。室数は13室に変更。 c パソコン自習室閉鎖に伴い、室数は9室に変更。
① 施設 a 研究室1室(27㎡)	(令和6年5月1日) ① 施設 a 人事異動により研究室1室(27㎡)を短大専用から大学専用に変更した。

(注)・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

① 実施体制 a 委員会の設置状況 ・FD：FD委員会設置済(令和4年4月に規程を改定し、構成メンバー等を変更)。 ・SD：SD委員会設置済(令和4年4月に規程を改定し、構成メンバー等を変更)。 b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む) ・FDは教務部会に合わせて開催。委員全員が参加。SD委員会はSD前に開催。委員全員が参加。 c 委員会の審議事項等 FD/SDの企画立案と実施・運営 ② 実施状況 a 実施内容

- ・FD: 第1回 対話型AIの動向と教育に与える影響
第2回 「城西国際大学におけるクォーター制の導入事例」
第3回 アクティブ・ラーニングについてーアクティブ・ラーニング調査の報告と、授業方法や工夫
第4回 クォーター制・105分授業について
ミニFD: 様々な生成AIの使い方 はじめの一步 -大学教員が活用するために-
- ・SD: 5月ハラスメント防止研修/6月障がい者への理解と支援/9月研究倫理について/9月中堅職員研修・課長職研修/10月本学の奨学金動向について/12月コンプライアンス研修(組織倫理)/2月コンプライアンス研修(情報セキュリティ)/2月一般職員研修

b 実施方法

- ・FD:対面による研修
- ・SD:対面による研修

c 開催状況(教員の参加状況含む)

- ・FD:参加者は①64名、②73名、③71名、④63名
- ・SD:教職員が参加しての研修は主に教授会開催日に合わせて実施。都合等欠席者を除き参加率は高い。
職員のための階層別研修は学生休業期間中に行われ参加率は高い。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・FD:LMSなどのツールの活用方法などに関する研修の要望もあったため、今後は教員の授業改善に向けて希望者のみのミニFDを複数回開催する。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

学期末一年2回、非常勤講師含め全教員の全科目で実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

各授業担当教員へアンケート結果を開示し、学生からのコメントがある場合はそれに対する回答を学内HP公開している。悩みや問題のある教員には教務部長・学長・学部長と面談を行い、必要に応じたアドバイスとサポートを実施している。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

「該当なし」

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

令和4年度設置学科につき、総括評価・所見共、現在とりまとめ中。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

- ・令和7年3月 公表予定

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定(令和7年3月を予定)

③ 認証評価を受ける計画

(専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。)

- ・ 令和6年に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受審。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和6年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《 a で「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《 a で公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。